

島根糖尿病療養支援機構 機関紙 Vol.6

- ψ 巻頭言
- ψ 年間行事予定
- ψ 令和元年度総会報告
- ψ 平成30年度事業報告・役員定款変更
- ψ 島根糖尿病研修会2019報告
- ψ 島根糖尿病研修会2020のお知らせ
- ψ パネルディスカッション「医科歯科連携」
- ψ 島根県糖尿病腎症重症化予防実践者
育成講座の開催
- ψ 糖尿病ブルーライトアップ
- ψ 糖尿病関連団体一覧
- ψ 事務局からのお知らせ
- ψ 編集後記



NPO法人 島根糖尿病療養支援機構

Non-Profit Organization Shimane diabetes care support organization (SDCO)

〒690-0883 島根県松江市北田町2-3

TEL: 0852-20-0700 / FAX: 0852-20-0880

http://www.sdmrso.jp / E-mail: info@sdmrso.jp

巻頭言

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構

理事長 並河 整

昨年「糖尿病診療ガイドライン2019」が策定されました。その中で食事療法については「日本人の食事摂取基準」の5年ぶりの改訂を受け大きな変更がありました。エネルギー摂取量は個別化を図るとされ、まず治療開始時に摂取量の目安を定め、年齢、病態、体組成、アドヒアランス、代謝状態の変化などを踏まえ適宜変更する、とされました。更に目標体重については「65歳未満ではBMI:22を目安とするが、65歳以上ではBMI:22~25と幅を持たせ、75歳以上については現体重に基づき、フレイル、合併症、体組成、摂食状況などから適宜判断とする」、栄養素の比率についても「設定する明確なエビデンスはないため適宜柔軟に対処する」としています。

思えば、食品交換表の初版が出された昭和40年頃に比べ現在の食生活は大きく変貌し、糖尿病治療も著しい進歩を遂げました。もはや一律の食事療法を糖尿病患者全員に押し付けるのではなく食事療法の自由度を高くすべきでしょう。しかし「適宜柔軟に」と言っても野放

図にして良いわけではなく、個別化を図って経過を見ながら指導を進めていくためには一律に指導する以上に知識や経験が必要です。私たちは今後更に療養指導のスキルを高め、チーム内でのディスカッションを深め、病診・診診連携を強めることが必要となりました。

一方で、糖尿病の日常管理の個別化の方法の一つとしてスマートフォン等の通信やIT技術を取り入れた一種の遠隔診療があります。最新の糖尿病治療は先端技術の躍進を背景に大きな変貌を遂げようとしており、私たちはこのような最新情報を注視し、適応や長所・短所を吟味しながら総合的に今後のあり方を考える必要があります。

当法人の活動はまだ微々たるものですが、このような時代の流れに敏感に対応しながら、これまでの地域に根ざした取り組みや会員間のネットワークを大切に、糖尿病対策が健康長寿につながる大きなムーブメントとなるよう努力したいと思います。

法人運営の厳しさは日々増すばかりですが、今後とも効率化を推進し、収益事業を拡大しながら運営が盤石なものとなる様、努力を続けて参ります。引き続き、ご協力、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

◇年間行事予定◇

3月7日(土)	⇒中止	糖尿病を考える会研修会	益田赤十字病院
3月7日(土)~8日(日)	⇒中止	島根県糖尿病療養指導士第11期第5回認定研修会	益田赤十字病院
3月13日(金)~14日(土)	⇒中止	糖尿病学の進歩	金沢市
3月22日(日)	⇒中止	中四国糖尿病療養指導スキルアップセミナー	岡山コンベンションホール
4月25日(土)~26日(日)		島根県糖尿病療養指導士第11期第6回認定研修会	松江赤十字病院
4月29日(水)		島根県糖尿病療養指導士の会総会・研修会	松江赤十字病院
5月17日(日)		糖尿病を考える会総会・研修会	松江赤十字病院
5月21日(木)~23日(土)		日本糖尿病学会年次学術集会	滋賀県大津市
6月7日(日)		島根県糖尿病協会総会 島根県糖尿病協会創立50周年記念行事	ビッグハート出雲
6月28日(日)		日本小児思春期糖尿病学会年次学術集会	アクロス福岡
7月4日(土)~5日(日)		日本糖尿病療養指導学術集会	大阪国際会議場
7月11日(土)		肥満症サマーセミナー	米子コンベンションセンター
8月16日(日)~23日(日)		大山サマーキャンプ	船上山少年自然の家
8月30日(日)		島根糖尿病合同研修会2020	くにびきメッセ国際会議場
9月19日(土)~20日(日)		日本糖尿病教育・看護学会学術集会	盛岡市民文化ホール他
10月2日(金)~3日(土)		日本糖尿病学会中国四国地方会	かがわ国際会議場 サンポートホール高松

◇令和元年度 総会報告◇

日 時	令和元年11月23日(土)	10:00～12:00
場 所	松江テルサ	
出席人数	118名(内表決委任者105名)／正会員数157名	
内 容	・総会 平成30年度(H30.10.1～R1.9.30)事業報告 平成30年度(H30.10.1～R1.9.30)活動計算書決算報告 令和元年度(R1.10.1～R2.9.30)事業計画 令和元年度(R1.10.1～R2.9.30)会計活動予算 役員改選 定款変更	



◇平成30年度事業報告(H30.10.1～R1.9.30)◇

平成30年度も前年度に準じ、市民啓発活動、各種研修会の開催・支援、管理栄養士紹介事業などを継続し、行政や事業所からの委託事業を行った。

【市民啓発活動】

松江市健康福祉フェスティバルに参加し、市民に糖尿病発症や重症化の予防の重要性を訴えた。機構で作成している糖尿病食事指導用教材は自分の現在の食事摂取量や1日に摂取すべき食品が簡単に把握できるので各種教室、個別指導、イベント等で配付して、わかりやすく使いやすくと好評を得ている。また、平成30年11月18日に『世界糖尿病デー』行事として、日糖協島根県支部を中心に、雲南市、雲南医師会、雲南市歯科医師会等の糖尿病療養指導士、糖尿病にかかわる医療者が集い、加茂町文化センター「ラ・メール」のブルーライトアップを行った。一般市民も合わせ300人の参加があり大盛会に終わることができた。今後も地域の糖尿病関係者と連携を密にとり、糖尿病療養指導士(CDE)が中心となって活躍できるよう支援していきたい。

【3会合同研修会】

今年度も「糖尿病を考える会」、「島根県糖尿病療養指導士の会」と合同で、「島根糖尿病合同研修会2019」を開催し、約300名の医療従事者を集めて研修を行った(詳細は後述)。

【島根県糖尿病療養指導士認定事業】

第11期生養成研修会の講義を動画撮影しホームページに掲載して、参加できなかった研修生や復習したい研修生が閲覧できるようにしている。

【管理栄養士の紹介事業、講師派遣事業】

CDEの資格を持つ管理栄養士を要望のあった診療所に紹介する事業であり、徐々に県内で認知度が高まり医療機

関での利用が増加している。また、県内外の医師会や行政関係等からの講演依頼があり、医師・看護師・管理栄養士が講演に出向いた。

【松江市国民健康保健指導業務の特定保健指導業務】 委託を受けて9年目となり今年度も管理栄養士(CDE)が指導を行った。

【松江市国保糖尿病性腎症重症化予防保健指導】

平成28年度からのこの事業も継続し、事前に研修を受けた会員が指導に当たっている。指導後には紹介元のかかりつけ医との報告会・研修会を開催し指導担当症例について医師から細かい説明・指導を頂いた。会員の貴重なスキルアップの機会となっている。

【島根県糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座】

昨年度に続く委託。糖尿病腎症重症化予防の保健指導を行っているスタッフを対象に、県内東部西部2ヶ所で基礎編と技術編の研修会を開催した(詳細は後述)。

【事業所における健康教育】

事業所からの依頼で今年度もCDEによる「食」を中心とした栄養改善プログラムを地域・事業所で実施し、糖尿病をはじめとする生活習慣病の一次予防にも積極的に取り組む場になっている。

【広報事業】

本機構の活動を広く知って頂くためホームページを活用している。また糖尿病関係団体からの要望を受け島根県内の糖尿関係行事・研修会等の日程表、お知らせ等をホームページで公開し、関係者の周知に努めた。ホームページには、島根県のCDE認定研修要項・研修会カリキュラム等も掲載し、島根県CDE制度に対するPR活動にも繋げている。機関紙は年1回の発行とし、会員の他、関係機関にも配布した。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
糖尿病に関する教育広報事業	ホームページを使って、島根県内の糖尿病研修会の日程等を掲載、会員からの問い合わせ、質問等にも対応している	H30.10～R1.9	事務局	4人	会員、島根県糖尿病療養指導士、その他一般(対象500)
	糖尿病食事療法指導用教材作成	H30.10～R1.9	事務局	4人	NPO法人正会員、島根県糖尿病療養指導士、糖尿病友の会、地域一般(対象1000名)
	松江市健康福祉フェスティバル	R1.6.28	松江市保健福祉総合センター	4人	松江市民、島根県糖尿病療養指導士、医療機関関係者(出席者100名)
	島根糖尿病合同研修会2019	R1.9.1	くにびきメッセ 国際会議場	42名	3会会員195名 非会員 90名 合計285名
	日本糖尿病協会島根県支部との共催R元年度『世界糖尿病デー』加茂ラ・メールブルーライトアップイベント・講演会	H30.11.17	加茂ラ・メール	5人	出雲地区会員、島根県糖尿病療養指導士、医療機関関係者、一般(出席者300名)

養指導士認定事業	島根県糖尿病療養指導士認定機構 第1回第11期生研修会	H30.12.1 ～12.2	松江赤十字病院	6人	島根県糖尿病療養指導士認定機構 第11期生、島根糖尿病療養指導士(出席者100名)
	島根県糖尿病療養指導士認定機構 第2回第11期生研修会	H31.3.9 ～3.10	益田赤十字病院	5人	島根県糖尿病療養指導士認定機構 第11期生、島根糖尿病療養指導士(出席者100名)
	島根県糖尿病療養指導士の会研修会	R1.5.19	松江赤十字病院	6人	島根県糖尿病療養指導士 (出席者64名)
	島根県糖尿病療養指導士認定機構 第3回第11期生研修会	R1.6.22 ～6.23	松江赤十字病院	5人	島根県糖尿病療養指導士認定機構 第11期生、島根糖尿病療養指導士(出席者100名)
指導者紹介事業	(株)ヘルスプロジェクト社員 食生活指導	H30.10 ～R1.9	テクノプロジェクト	4人	(株)テクノプロジェクト社員 (37名)
	山陰合同銀行健康教室	H30.11.3	山陰合同銀行本店	1人	50歳代対象者(家族も含む)
	寺町健康教室	H30.11.11	ポートピア	1人	地域住民 20名
	(株)テクノプロジェクト 新入社員食生活講座	H31.4.2	テクノプロジェクト	1人	(株)テクノプロジェクト 新入社員(8名)
	海士町糖尿病検診	R1.6.7～6.8	海士町保健福祉 センターひまわり	1人	海士町糖尿病患者 200名
	松江市 国保特定保健指導事業	H30.10 ～R1.9	訪問指導 (松江市在住)	2人	動機づけ支援6件 積極的支援4件
	松江市 糖尿病腎症保健指導事業	H30.10 ～R1.9	松江市 保健センター他	5人	10件
	島根県 糖尿病腎症重症化予防 実践者育成講座	H30.12.23	出雲保健所	4人	市町村国保及び保健部局担 当者、関係機関職員(78名)
		H31.1.20	浜田合同庁舎	4人	市町村国保及び保健部局担 当者、関係機関職員(83名)
	指導申込のあった医療機関に出向い て個別に栄養指導	29.10～30.9	松江市・出雲市 鹿足郡の医療機関	6人	申込医療機関 (6施設367件)

当機構ホームページに、公開しています。

平成30年度(H30.10.1～R1.9.30)事業報告・活動計算書決算報告

平成30年度(H30.10.1～R1.9.30)財産目録・貸借対照表

令和元年度(R1.10.1～R2.9.30)事業計画・会計活動予算

https://www.sdmrso.jp/dantai_gaiyo/

◇役員変更のお知らせ◇

NPO法人島根糖尿病療養支援機構理事の任期満了に伴い、役員改選の結果、全理事再任となりました。

役 名	理事長	副理事長	副理事長	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	監 事
氏 名	並河 整	田中美紗子	山根雄幸	乗本道子	伊東康男	福庭 洋	手納信一	垣羽寿昭	川谷 恭典	泉 典子
勤務先	並河内科 クリニック	並河内科 クリニック	山根病院	安来 市立病院	島根県立 中央病院	福庭 内科医院	手納医院	松江 赤十字病院	かわたに 薬局	さくら薬局

◇定款変更のお知らせ◇

NPO法の改正等に伴い、この度定款変更を行いました。

下記、当機構ホームページからご確認下さい。

NPO法人島根糖尿病療養支援機構⇒SDCOについて

https://www.sdmrso.jp/wp-content/uploads/2020/02/20200129_teikan.pdf

検索



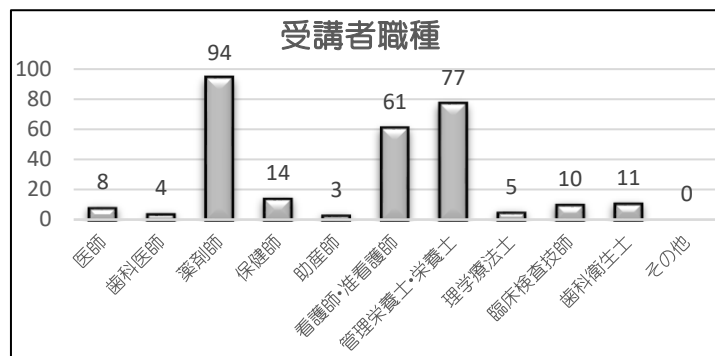
◇島根糖尿病合同研修会2019◇

島根県の糖尿病療養支援にかかわる、「NPO法人 島根糖尿病療養支援機構」「糖尿病を考える会」「島根県糖尿病療養指導士の会」の三会で、4回目の合同研修会を開催しました。

「島根県糖尿病合同研修会2019」は9月1日(日) くにびきメッセで、3会会員195名、非会員 92名、合計287名の参加で、島根県で糖尿病に関心のある医師・コメディカルが集う最大の会になりました。

医師3名看護師1名の講師から講演4題と、医科歯科連携をテーマに医師と歯科医師をパネラーに今回初のパネルディスカッションを行いました。

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構
副理事長 田中美紗子



会 期	令和元年9月1日(日)
会 場	くにびきメッセ 国際会議場
主 催	NPO法人島根糖尿病療養支援機構 糖尿病を考える会 島根県糖尿病療養指導士の会
講演Ⅰ	座長:田中美紗子(並河内科クリニック) 演題:糖尿病の神経系合併症 講師:倉敷中央病院 糖尿病内科 顧問 松岡 孝先生
講演Ⅱ	座長:石川万里子(島根大学医学部附属病院) 演題:実践のリフレクション～あらためて自らの療養指導を振り返る～ 講師:横浜創英大学 看護学部 教授 中村慶子先生
ランチョンセミナー	商品紹介 第一三共株式会社・田辺三菱製薬株式会社 座長:松本祐二(松本医院) 演題:2型糖尿病のいかなるステージでSGLT2阻害薬は有効か? 講師:東邦大学医学部内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野教授 弘世貴久先生
講演Ⅲ	座長:川谷恭典(かわたに薬局) 演題:低血糖について 講師:松江赤十字病院 病院付部長・医療安全推進室長 垣羽寿昭先生
パネルディスカッション 「医科歯科連携」	座長:並河 整(並河内科クリニック) 講師:内科の立場から 医療法人 慈誠会 山根病院 山根雄幸先生 歯科の立場から:歯周病と糖尿病、糖尿病患者の歯科・眼科受診勧奨について 松江市歯科医師会理事 三原歯科クリニック院長 三原和彦先生



NPO会員42名がスタッフ参加



**島根糖尿病合同研修会
2020 予告!!**

**会期: 2020年8月30日(日)
会場: くにびきメッセ
国際会議場
お待ちしております!**

次回の講師陣は、現在企画交渉中です!

ランチョンセミナー決定!
順天堂大学附属病院教授 綿田裕孝先生

次回もご期待ください!!
是非手帳にメモっておいてください(._.)φ

◇島根糖尿病合同研修会2019◇ ◇パネルディスカッション「医科歯科連携」◇

NPO法人 島根県糖尿病療養支援機構 副理事長 山根雄幸

「島根糖尿病合同研修会2019」は2019年9月1日(日)くにびきメッセ国際会議場で開催しました。パネルディスカッション「医科歯科連携」についてご報告いたします。

私が、内科の立場から「糖尿病と歯周病について」講演し、三原歯科クリニック院長、三原和彦先生に歯科の立場から「歯周病と糖尿病について」ご講演頂きました。

内科の立場からお話させていただきます。歯周病は、糖尿病の第6番目の合併症と言われています。糖尿病は、歯周病発症のリスクであることが証明されており、肥満、年齢に関係なく発症します。糖尿病は、易感染性が生じ歯周病菌を増殖させます。また、高血糖は歯根膜線維芽細胞を破壊するために細菌感染を助長させます。これらは、血糖コントロール不良の場合にはさらに悪化させます。

「糖尿病と歯周病について」のまとめ

- ・糖尿病は歯周病の罹患率が高い(約2倍)
- ・糖尿病は歯周病を重症化しやすい
- ・糖尿病の罹病期間が長い人ほど歯周病の罹患率が高い
- ・血糖コントロールが不良な人は歯周病が重症化しやすい

歯科の立場から三原先生のご講演についてまとめさせていただきます。歯周病は、炎症性サイトカインや活性酸素を産生します。これらのサイトカインがインスリン抵抗性を引き起こします。歯周病を治療するとHbA1cが改善することがあります。

「歯周病と糖尿病について」のまとめ

- ・歯周病が重症化している人ほど血糖コントロールが不良
- ・歯周病が重症化している人ほど糖尿病の合併症の発現率が高い
- ・歯周病の人は糖尿病の罹患率が高い
- ・歯周病の人は糖尿病でなくても糖尿病予備群であることが多い

特に、プラークをコントロールすることが重要であることを教えて下さいました。セルフケア(歯磨き)では十分なケアとはいえないことから、歯科を定期的に受診し歯周ポケットに付着しているプラークや歯石を除去することが望ましい。また、一旦治療が終了しても再発が多いため定期受診の重要性を示されました。

次に、糖尿病も歯周病も大血管障害を引き起こすことがわかっており、生命を脅かす危険性があります。

近年、高齢者においては誤嚥性肺炎が増加しています。誤嚥性肺炎とは、食べ物や異物を誤って気管や肺に飲み込んでしまうことで発症する肺炎です。高齢になると咳嗽機能が衰え、食べ物などと一緒に

口腔内の歯周病菌を飲み込み、その際むせたりすると細菌が気管の中に入ることがあります。その結果、誤嚥性肺炎を発症することがあります。糖尿病の人では免疫力の低下により発症しやすくなります。誤嚥性肺炎の予防には、血糖コントロールと歯周病の治療が重要になります。

骨粗鬆症は、日本で約1000万人(推定)いると言われています。骨粗鬆症は全身の骨強度が低下し骨折しやすくなる病気です。骨の脆弱性は糖尿病による骨質の低下により助長されます。女性では、閉経後骨粗鬆症の人において歯周病が進行しやすいと言われています。特に骨粗鬆症と歯の喪失は関連性があると報告されています。そのため、血糖コントロールと歯周病の治療が必要となります。さらに、骨粗鬆症の薬としてよく用いられるビスフォスフォネート製剤(BP系薬剤)は、抜歯の際に顎骨壊死を引き起こすことが稀にあります。そのため定期的に歯科受診を行い、プラークコントロールをすることで抜歯に至らないようにすることも重要です。以上のことから、医科でも歯科でも歯周病の早期発見を行い、医科歯科連携の重要性について述べました。

パネルディスカッションでは、座長の並河整先生がフロアーからの質問をまとめて下さり歯科、医科の連携の問題点や今後の展望についてディスカッションしました。

まとめは、「医科歯科連携」と同時に患者さんや家族に歯周病について啓発活動が必要であることが示唆されました。

今回のテーマは、会場から多数の質問が寄せられ、関心の高い内容であったことが伺えました。



医科歯科連携

初のパネルディスカッションでした！
質問は、質問用紙に記入していただき回収する方法で、先生方は、一つ一つに丁寧にお答えいただき、大好評でした！！

◇島根県糖尿病腎症重症化予防実践者育成講座の開催◇

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構
理事長 並河整

日時場所	西部会場	令和元年9月8日(日)	浜田合同庁舎大会議室
目的	・予備群からの効果的な介入や糖尿病発症後の適正管理を推進するため、糖尿病の保健指導に関する基礎的な内容を理解し、対象者の病態に応じた支援ができる人材を増やす。 ・糖尿病に関する効果的な啓発や基本的な食事指導を行うための具体的な手法を学ぶ。 ・地域の連携体制整備に向け、情報交換を行い、対策の推進を促す。		
対象者	市町村国保における保健指導従事者(委託機関含む)、その他関係者 (※比較的、食事指導等の経験が少ない従事者を想定)		
内容	10:00～11:30 講演①	「糖尿病の基礎知識」 NPO法人島根糖尿病療養支援機構副理事長 医師 山根雄幸(山根病院院長)	
	12:30～14:00 講演②	「実践！糖尿病の食事指導」 NPO法人島根糖尿病療養支援機構副理事長 管理栄養士 田中美紗子	
	14:10～16:00 意見交換	司会:NPO法人島根糖尿病療養支援機構 並河整理事長	

日時場所	東部会場	平成31年1月20日(日)	くにびきメッセ大会議室
目的	・基礎編の内容を踏まえ、糖尿病腎症3期までの比較的早期の段階での個別支援に関する知識を学ぶ。 ・症例検討を通して具体的手法を学び、糖尿病腎症重症化予防のための個別支援の技術を身につける。		
対象者	市町村国保における保健指導従事者(委託機関含む)、その他関係者 (※比較的、食事指導等の経験が少ない従事者を想定)		
内容	10:00～11:30 講演①	「糖尿病腎症重症化予防に向けて」 NPO法人島根糖尿病療養支援機構副理事長 医師 山根雄幸(山根病院院長)	
	12:30～14:00 講演②	「糖尿病～腎症早期の食事療法」 NPO法人島根糖尿病療養支援機構副理事長 管理栄養士 田中美紗子	
	15:30～16:00 症例検討	(グループワーク) NPO法人島根糖尿病療養支援機構 並河整理事長	

平成30年3月に策定された「島根県糖尿病腎症重症化予防プログラム」をもとに昨年度より保健指導に従事する人たちの糖尿病腎症の病態や治療についての知識を高め、糖尿病管理の支援を適切に行えることを目的として本講座が開催されています。私たち島根糖尿病療養支援機構が今年度も講座運営の委託を受け、今回は糖尿病の指導経験やニーズに応じて、「基礎編」と「技術編」に分けて開催致しました。

基礎編では糖尿病対策の基本を理解することを主眼に講義、症例検討と意見交換を行い、技術編では腎症を中心とした講義と参加者が予め提出した症

例を検討し、個別支援に必要なアセスメント能力を高めることを主眼と致しました。

基礎編の浜田会場で42名、技術編の松江会場で47名と行政を中心に多くの参加者があり、熱心に聴講して頂きました。特に技術編では参加者からの症例を検討したため限られた時間でしたが大変充実したディスカッションができ、改めて参加型の研修の大切さを感じました。

今後も糖尿病腎症重症化予防のため、患者背景やQOLなどを含め個々の患者ごとに適切な指導ができるよう、研修会の更なる充実に向けて努力していきたいと思います。



西部会場:ipad受講含 42名



東部会場:ipad受講含 50名

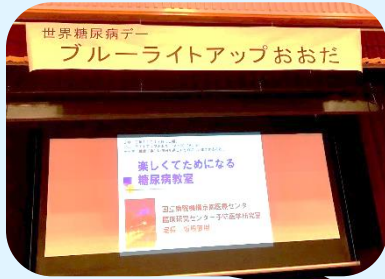
◇糖尿病ブルーライトアップ in サンドミュージアム◇

日時:令和元年11月17日(日)

場所:仁摩町農村環境改善センター
仁摩サンドミュージアム

ライトアップに先立ち、京都医療センターの坂根直樹先生の記念講演や様々なブース展示・仁摩高校吹奏楽部と世界的フルーツ奏者トーマ プレヴォ氏のコラボコンサートがありました。

コンサート終了後、カウントダウンからの点灯で、サンドミュージアムがブルーに浮かび上がりました。



◇糖尿病関連団体一覧◇

	事業年度	会費	事務局(連絡先)	問合せ先
NPO法人 島根糖尿病 療養支援機構	10月～9月	年会費 3,000円	FAX:0852-61-0852(通話不可) E-mail:office@sdmrso.jp	伊藤孝子
糖尿病を考える会	4月～3月	年会費 1,500円	Tel:0852-24-2111 E-mail:seikatsu@matsue.jrc.or.jp	吉岡かおり
島根県糖尿病 療養指導士の会	4月～3月	年会費 1,500円	FAX:0852-61-0852(通話不可) E-mail:atorie_bene@yahoo.co.jp	伊藤孝子
島根県糖尿病 療養指導士認定機構	9月～8月	資格更新時 5,000円	Tel:0852-24-2111 E-mail:seikatsu@matsue.jrc.or.jp	吉岡かおり

各自、所属団体を確認し、登録事項に変更が生じた際には、速やかに事務局までご連絡ください。
会費の納入状況もご確認いただき、滞りのない会費納入にご協力ください。

◇事務局からのお知らせ◇

- ◆年会費納入のお願い◆ 平成30年度分(平成30年10月1日～令和1年9月30日)…未納の方
令和1年度分(令和1年10月1日～令和2年9月30日)…未納の方
※納入状況が不明の方は事務局へお問い合わせ下さい。(office@sdmrso.jp:伊藤)

会員種類	内容	入会金	年会費
正会員	この法人の目的に賛同して入会し活動を推進する個人 (医療職に限らず一般の方すべて入会可能です)	2,000円	3,000円
準会員	現在、島根県糖尿病療養指導士 取得のための研修会を受講中の者	無料	無料
賛助会員	この法人の事業を賛助するために入会した団体	無料	5,000円

◆ご寄付のお願い◆

会費とは別にご寄付を受け付けています。

会の運営・発展のため、皆様からのご寄付をお待ちしています。

【振込先】

郵便振替口座:01360-5-85177 特定非営利活動法人 島根糖尿病療養支援機構
山陰合同銀行益田支店:普通3627347 特定非営利活動法人 島根糖尿病療養支援機構
ゆうちょ銀行:15380-14463881 特定非営利活動法人 島根糖尿病療養支援機構

◆島根県糖尿病療養指導士11期生が受講中です◆

11期生49名が受講中です。7月の認定試験、がんばってください！

◆登録内容の変更は速やかにご連絡ください◆

勤務先・ご自宅住所の変更の場合、発送先変更など、速やかに事務局へ連絡してください。

⇒ e-mail:office@sdmrso.jp(伊藤)

FAX専用:0852-61-0852(通話不可)

◆新入会のお誘い◆

会員の皆様のまわりで、当機構の趣旨に賛同いただける方に入会のお誘いのお声かけをお願いします！！

入会方法等、HPの「入会の申込み」をご覧ください。

https://www.sdmrso.jp/nyukai_mosikomi/

◆会員専用ページのパスワード◆

2020年3月15日より変更となります。

新パスワードは正会員へお知らせしています。(機関紙と同封)

パスワードがわからない方は、office@sdmrso.jp(伊藤)にお問合せください。



編集後記

積雪が少なく穏やかな冬を過ごしました。温暖化に不安を感じる今日この頃です。
今年度も、糖尿病腎症重症化予防実践者育成に力を注ぎ松江会場、浜田会場共に多数の参加者がありました。All島根でサポート体制が整いつつあることを心強く思っています。また、大田市ではブルーライトアップイベントが開催され、地域一丸となって素晴らしい取り組みをされました。島根県糖尿病療養指導士11期生も終盤を迎え、糖尿病に携わる仲間が増えることに喜びと期待を持っています。

次年度も実りある1年となりますよう、今後とも一層のご支援をお願いいたします。

NPO法人 島根糖尿病療養支援機構 副理事長 山根雄幸